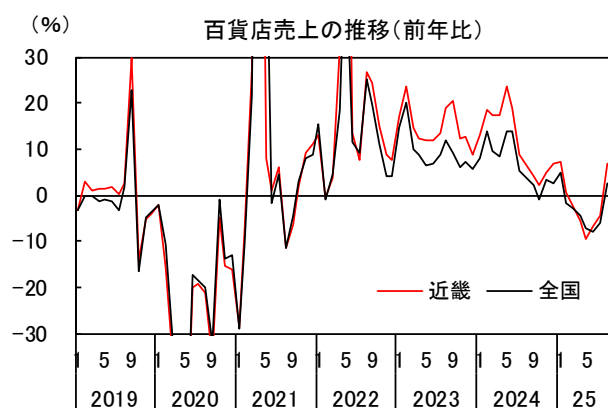
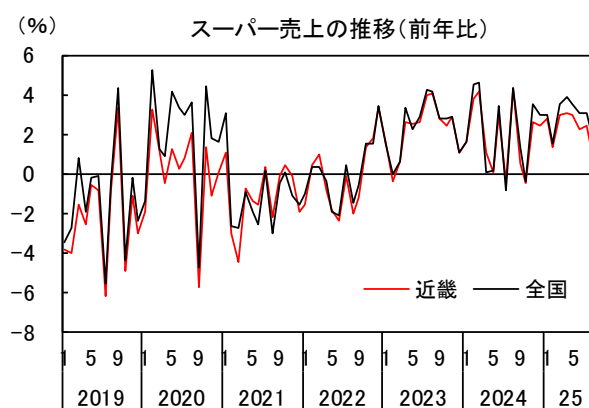


関西の景気トピックス【消費関連（25 年 8 月）】

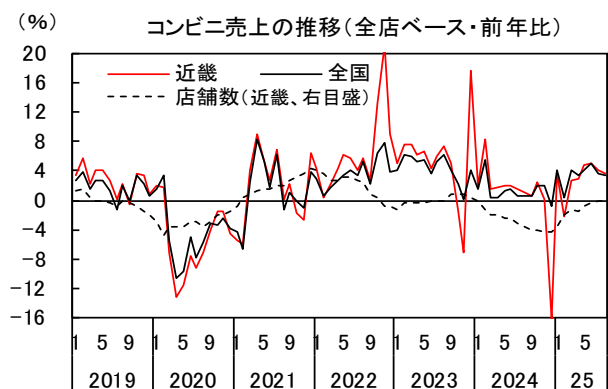
- 25 年 8 月の百貨店売上（経済産業省）は前年比プラス 6.9%と 6 か月ぶりの増加となった。前年が台風や地震などで訪日客消費が悪化しており、その反動増が一因とみられる。一方、スーパー売上の 8 月は前年比プラス 0.6%と、米価格や食料品価格の高騰などを背景に、売上が前年を上回る動きが続いている。
- コンビニ売上（経済産業省）は、8 月は全店ベースで前年比プラス 3.6%と 6 か月連続の増加となった。商品価格の値上げの影響に加え、インバウンド客の増加などもあり、売上が伸びる傾向が続いている。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の 7 月は、前年比マイナス 19.7%と 3 か月連続の減少となった（3 か月移動平均）。3 月の改正省エネ法導入前の駆け込み需要による反動で、前年を大きく下回る動きが続いている。
- 一部で売上が前年を上回る動きはあるが、値上げの影響が大きく、需要の強さを示すものとは言い切れない。住宅着工の鈍化も気掛かりであり、消費の基調は依然として楽観できない状況である。



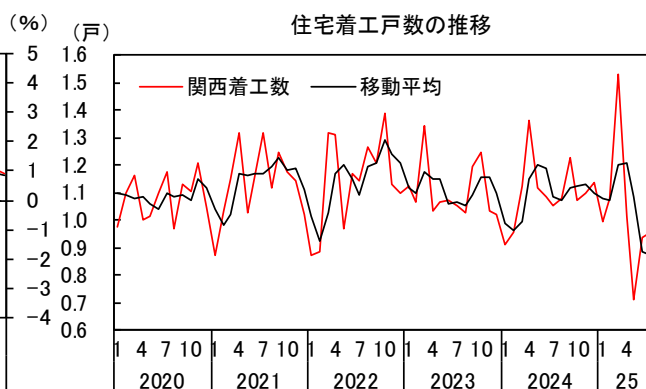
(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)国土交通省「建築着工統計」